

## 第6学年C組 はばたき学習指導案

授業者 稲垣 勇介  
研究協力者 細川 和仁

### 1 単元名 きらり みんなの笑顔があふれるまち ～ふるさと秋田 幸せ都市計画～

#### 2 子どもと単元

##### (1) 子どもについて

下学年時、地域の商店街の人は、よりよい商店街にしようとお客さんの思いや願いを考えながら努力していることを学んだり、特別支援学校の児童とよりよく関わるために、感じ方の違いを理解した上でそれぞれの思いや願いを受け入れながら活動に取り組んだりしてきた。しかし、多様な考え方や感じ方を受け入れることの大切さを理解しつつも、自分の考えや行動が一般的だという感覚があり、他を受け入れられていない行動はまだ見られる。

1学期の学習「函館で旅をつくろう」においては、個々が情報収集する中で函館に関する課題を設定し、班の児童と互いに抱く思いや願いに折り合いを付けながら計画を立案した。どのようなねらいをもってどの場所で何をするかを相談しながら研修に臨み、探究する過程で必要な課題解決の経験を積んできたことにより、秋田と比較しながら函館について知見を広めたりよさを実感したりすることができた。その一方で、秋田の欠点を挙げる声も多く聞こえた。4年社会科で学んだ秋田の特色を基に、「自然が豊か」「伝統的なものが多い」など、様々な秋田のよさを捉えてはいるが、そのよさはあくまで一般的で、そのよさを自分事として実感するには至っていないからだと考えられる。

##### (2) 単元について

本単元は、6年社会科「子育て支援の願いを実現する政治」という単元で学んだ、様々な人々の願いを反映させ施設や企画をつくる行政の働きと関連付け、行政だけではなく自分たちが秋田のためにできることはないか、秋田を活性化するべく展開していく。さらに外国語科の自己紹介や他国紹介において児童が行った動画制作の力を使ってまとめに生かす。

「秋田で過ごす幸せとは何か」という共通課題の下、秋田での幸福度を高めるために個々が解決する課題を設定し、秋田のよさを生かした過ごし方や、秋田の欠点と思われるものを逆に強みにできるような過ごし方の提案を動画としてまとめて発信していく。自身の中にある「秋田で過ごす幸せ」という概念が「学びのものさし」となり、秋田で幸せを感じる過ごし方、幸せ感につながる理由について考えることや、他者の提案を見聞きしたり自身の提案に対する他者の反応を受けたりすることで更新されていく。自分にとっての「秋田で過ごす幸せ」は必ずしも一般的ではなく多様にあるうちの一つの形であることに気付き、多様な考えを受け入れ更新していくことが探究の中心となる。それを基に、誰にとっても感じられる「秋田で過ごす幸せ」の創造を目指す。その中で、「**自他の共通性、法則性を見付けたり、異なる意見や他者の考えを受け入れたりし、自他の考えを生かしながら活動する**」という資質・能力を高めていくことをねらいとして、本単元を設定した。

##### (3) 指導について

「課題の設定」では、秋田で過ごすことに対する思いや願いが生まれるように、秋田に対する評価があまりよくない全国幸福度ランキングや秋田で過ごす人（大学生）へのアンケート結果を提示する。ここで、結果に対する納得と疑問の二種類の思いが生まれると予想される。「秋田の欠点を払拭できれば幸福度が上がるのではないか」「秋田のよさを広め、より多くの人が幸せを感じられる秋田にしたい」というような思いや願いから、「秋田で過ごす幸せとは何か」という共通課題の下、個々で学びの方向を設定できるようにする。

「情報の収集」では、調べることで見えてくる秋田のよさや課題を基に、飲食、文化、自然など、どの分野を追究することで「秋田で過ごす幸せ」を感じられるのか課題設定できるように、秋田の現状について調べる時間を確保する。そして、収集した情報を基に、秋田で幸せを感じる過ごし方について考え動画としてまとめていく。

「整理・分析」では、自他の考えのずれを認識して、これまでに形成してきた「秋田で過ごす幸せ」についての概念をより深められるように、他者の提案を見聞きしたり自身の提案に対する他者の反応を受けたりすることができる環境を整える。視聴者と発信者の両方の考えを踏まえ、より多くの人が秋田で幸せを感じる過ごし方の提案となるよう、幸せ感につながる理由に着目して振り返るレーダーチャートを用いながら、提案内容を再考する場を設ける。

「まとめ・表現」では、制作した動画を最終的には秋田で過ごす人（大学生）を相手に見せ提案する。誰にとっても感じられる「秋田で過ごす幸せ」を考えてきた活動を振り返り、「秋田で過ごす幸せ」について概念形成する中で、他者の考えを受け入れ、自他の考えを生かして活動してきたことのよさを自覚できるようにする。

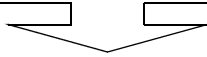
#### 3 単元の目標〈記号は本校の資質・能力表による〉

- (1) 「秋田で過ごす幸せ」について考える活動を通して、他者の考えを受け入れ、自他の考えを生かして活動する大切さを理解することができる。 (D-a,b)
- (2) 他者の提案動画の視聴や提案に対する他者の反応を受けることを通して、秋田で幸せを感じる過ごし方や幸せ感につながる理由について、自他の考えを比較しながら考え、それらが伝わりやすい効果的な表現をした動画を制作することができる。 (B-e,f)
- (3) 提案内容の構想や動画制作を通して、他者の考えを受け入れ、自他の考えを生かしながら、自他の思いや願いの実現に向かって協働的に活動に取り組もうとする。 (C-a,b,c)

4 単元の構想 (総時数14時間)

きらり みんなの笑顔があふれるまち ～函館で旅をつくろう～

興味や関心に基づく自分のこだわりと仲間の考えを共有しながら研修計画を立て、秋田と比較しながら函館のよさに気付きまとめている。



本単元

時間	学習活動 (・は予想される子どもの姿)	教師の主な支援	評価 (本校の資質・能力との 関連)
1	<p>(1) 秋田の現状を把握し、共通課題を設定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幸せを感じないまちに住むのは嫌だ。</li> <li>・秋田は祭りなど伝統的なものはあるけれど遊べる所は少ない。PRした方がよい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・秋田の現状から未来の秋田への思いや願いをもてるように、幸福度ランキングや秋田に関する意識調査結果などの資料を提示する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料の中から必要な情報を選択して問題を見付け、秋田への思いや願いが生まれている。 (A-a、B-e)</li> </ul>
「秋田で過ごす幸せ」とは何か。			
2 3	<p>(2) 秋田の情報を収集しながら、どの分野で「秋田で過ごす幸せ」を感じられるようにするのか、個々で課題設定をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・郷土料理はたくさんある。おいしいものばかりで幸せを感じられるはず。</li> <li>・自然は多いけど、その分、施設が少ない。田舎な部分を生かせないかな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・興味や関心だけでなく秋田にあるよさや課題を把握した上で課題設定ができるように、秋田について調べる時間を確保する。</li> <li>・提案する分野が同じ人と班を構成して協働的に活動できるように、秋田のよさや課題を共有して提案できそうな分野を絞った上で、課題設定をする場を設ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・秋田のよさや課題などの情報を収集し、自分が調べたいテーマに応じた課題を設定している。 (B-b、d)</li> </ul>
4 5	<p>(3) 秋田で幸せを感じる過ごし方と幸せ感につながる理由を考え、それを提案する動画内容を構想する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・きりたんぼは消化がいいから、食べると「体を癒やせる」のが幸せの要素だ。</li> <li>・住んでいる人は少ないけど、「落ち着き」たい人にとってはいい所かも。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「秋田で過ごす幸せ」についての概念形成の一助となるように、幸せ感につながる理由を観点化し、それに着目して提案内容を振り返られる「幸せチャート」(「学びのものさし」)を作る場を設ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題解決に必要な情報を選択し、自分で考えたり友達と相談したりしながら、秋田について提案する内容を考えられている。(B-c、e、C-a)</li> </ul>
6 7 8	<p>(4) 動画の制作をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・#栄養満点 #体を癒やせる</li> <li>・#みんなで食べる #人とつながる</li> <li>・#四季の景色 #飽きずに楽しめる</li> <li>・#子ども静か #落ち着ける</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・形成した「秋田で過ごす幸せ」についての概念を意識化しやすいように、「#○○」というような幸せを感じる過ごし方や幸せ感につながる理由を簡略化した表現方法を提示する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言語、図表やグラフ、劇などから相手に伝わりやすい方法を選択し提案する内容を表現している。(B-f、C-b)</li> </ul>
9	<p>(5) 他者の動画を視聴し、評価をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「#みんなで食べて人とつながる」とあるけれど、量が多いという特徴だから、一人で食べる人にとっては「大食いしてお腹が満たされる」よさもある。</li> <li>・次の電車が来るまでの待ち時間が長いと嫌になる。何もしない時間は苦痛だ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発信者が無自覚な幸せを感じる過ごし方や幸せ感につながる理由を自覚できるように、視聴者に「#○○」として着目されていない点で感じたことについて記述するよう促す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「秋田で過ごす幸せ」についての自分の考えや動画から感じたことを明確にして、発信者に伝えている。(C-c)</li> </ul>

10 本 時	(6) 動画への他者の反応を基に、秋田で幸せを感じる過ごし方の提案内容を再考する。	・「秋田で過ごす幸せ」の概念が更新していることを自覚できるように、作成前後の比較ができる「幸せチャート」のシートを準備する。	・他者の反応を基に、秋田で幸せを感じる過ごし方や幸せを感じる理由について、多様に考えている。 〈B-e、C-a、D-a〉
11 12 13	(7) 動画の再制作をする。 ・#が増えて色々な幸せの形が入ってきた。 ・幸せの形をすべて取り入れるのは難しい。	・「#〇〇」で表現したものが伝わる秋田で幸せを感じる過ごし方となっているか客観的に振り返られるように、他者に動画の評価をしてもらう環境を整える。	・言語、図表やグラフ、劇などから相手に伝わりやすい方法を選択し提案する内容を表現している。 〈B-f、C-b〉
14	(8) 動画への反応を見て、共通課題に対する自分の考えをまとめる。 ・秋田の様々な人やものがつながり支え合って、幸せが成り立っている。 ・秋田には欠点もあるけど、見方を変えて受け入れたら、幸せを感じる要素が生まれてくる。 ・幸せの感じ方は人それぞれだけど、色々な人の考えを受け入れることで、今まで以上に幸せを感じられそう。	・形成した「秋田で過ごす幸せ」の概念を、学級や学校など他の場で過ごす幸せへ転換して生かせるように、他者の考えを受け入れようとする「受容」の考え方を引き出した上で、今後どのように生かしていきたいか考える場を設ける。	・「秋田で過ごす幸せ」について、他者の考えを受け入れ、自他の考えを生かして活動する大切さを理解している。 〈D-a、b、h〉

**◎本単元で育む主な資質・能力**

自他の共通性、法則性を見付けたり、異なる意見や他者の考えを受け入れたりし、自他の考えを生かしながら活動する。 〈D-a、b〉



みんなが楽しめる活動を創ろう ～多様な人が参加できる活動にするために～  
ユニバーサルデザインやバリアフリーの視点からよつば学習を見つめ直し、誰もが幸せを感じられる、共生に向かう活動を創り上げる。

5 本時の実際 (10/14)

(1) ねらい 自他の考え方のずれに着目して、動画への他者の反応を基に秋田で幸せを感じる過ごし方の提案内容を再考する活動を通して、「秋田で過ごす幸せ」という概念を再形成することができる。  
(B-e, C-a, D-a)

(2) 展開

○「学びのものさし」を働かせて省察したり、自律的に学習を進めたりするための支援

時間	学習活動	教師の支援 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">評価</span>
10分	<p>① 自分たちの動画への他者からの評価を確認し、本時のめあてを設定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・満点の評価はもらえなかった。何がだめだったのかな。</li> <li>・満点だったけど、6C以外の人が見たらどう思うかな。</li> </ul> <p>めあて</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>誰にとっても、秋田で幸せを感じられる過ごし方だったか、提案内容を見直そう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な人々を考慮した提案内容の再考に必要感をもって臨めるように、動画への評価の意味を問うことで「誰にとっても」という視点を共有する。</li> </ul>
15分	<p>② 「幸せチャート」を作り直しながら、提案内容を再考する。</p> <p>&lt;予想される子どもの反応&gt;</p> <p>【自分たちに足りない、幸せを感じる過ごし方や幸せ感につながる理由を見いだしていない】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・さらに幸せを感じられる過ごし方を提案したいけど、どうすればよいかわからない。</li> <li>・友達の願いは叶えられそうにないから、自分たちが提案した幸せの形に絞ったまま提案していてもよいか。</li> </ul> <p>【幸せを感じる過ごし方や幸せ感につながる理由に着目した提案だが、それを自覚していない】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・見た人みんな納得して幸せを感じてくれたけど、幸せを感じる提案が少ない気がする。</li> </ul> <p>【新たな幸せを感じる過ごし方や幸せ感につながる理由を考えている】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「みんなで食べられる」という過ごし方だけでなく、「大食いしてお腹が満たされる」という一人でも幸せを感じる過ごし方も提案しよう。</li> <li>・待ち時間が長いという欠点は、暇を感じないぐらい待ち時間を有効活用する過ごし方を提案すれば、「楽しさ」が幸せにつながりそう。</li> </ul>	<p>○「秋田で過ごす幸せ」の概念が更新していることを自覚できるように、作成前後の比較ができる「幸せチャート」のシートを準備する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他者の低い評価理由を見るよう促し、幸せ感につながらなかった理由を問い、「幸せチャート」に加える観点を引き出す。</li> <li>・幸せ感につながる理由となる要素に関連付けて過ごし方を考えられるように、考えのつながりを見付ける際にはウェビングマップが有効であったことを確認する。</li> <li>・他者の高い評価理由を見るよう促し、「幸せチャート」や「#〇〇」にない点についての記述がないか問い、無自覚な考えを引き出す。</li> </ul> <p>○誰にとっても感じられる「秋田で過ごす幸せ」の共通点を見いだせるように、全班の作り直した「幸せチャート」を共有、比較する場を設ける。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>他者の反応を基に、秋田で幸せを感じる過ごし方や幸せを感じる理由について、多様に考えている。 (B-e, C-a, D-a) (発言・シート)</p> </div>
10分	<p>③ 本時の学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友達の反応を見て、気付いていなかった幸せの考え方がたくさんあった。人によって幸せの感じ方は全然違うと感じた。</li> <li>・「おいしさから幸せ」につなげていたけど、そのおいしさは、「豊かな自然」や「人の努力」からつながっていた。</li> <li>・どの分野でも、「安心感」が幸せにつながっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「秋田で過ごす幸せ」には、様々な支えがあることや、誰にとっても感じられる共通点があることを意識付けられるように、それらに気付いた振り返りを紹介する。</li> </ul>

# 令和5年度 はばたき学習（総合的な学習の時間）実践・研究計画

部 員	○稲垣 勇介、柴田 省吾、井上 駿太、山田 幹
-----	-------------------------

研究テーマ  
**自ら見いだした課題について、よりよい方法を用いて探究し、自分にとっての答えとしての概念をつくり出していく子どもを育む学び**

## 1 研究テーマについて

昨年度までの実践で、探究的なスパイラルの中で、「比較」「分類」「順序付け」「理由付け」などの考えるための技法を活用しながら、分かったことを自分の言葉で意味付けしていくことで“自分にとっての答え”としての概念を形成していく子どもの姿が見られた。しかし、現時点で形成した概念を基に、新たに探究の見通しをもったり他者から得たい情報を焦点化したりしていくことには課題が見られた。

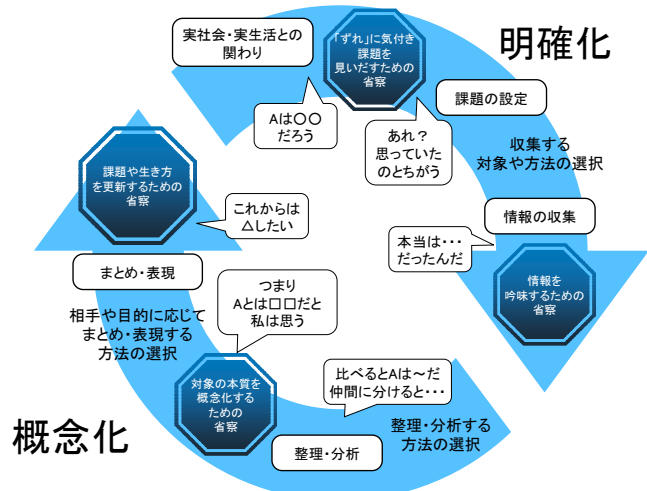
こうした成果と課題を踏まえ、はばたき学習部の研究テーマは今年度も継続していくこととし、子どもが自分の言葉で表現したものを基に、一人一人の学びの道筋を見取り、新たな探究の方向を見いだす支援をしていく。

はばたき学習で目指す自律した子どもの姿

- ・「人・もの・こと」と関わりながら、予想や理想、思い込みと現実との「ずれ」に気付き、自ら課題を見いだす姿
- ・よりよい方法や視点を用いて探究する中で対象を明確に捉えていく姿
- ・対象や解決方法について学んだことを自分の言葉で意味付け、次の学びに活かす姿

新たな探究の見通しをもつことについて、現時点で形成している概念から納得できた点と問題点を自覚できるようにすることで、自覚した問題点から今後の探究の方向性を見いだせるような手立てを講じていく。さらに、概念形成した学習対象との関わりの中で得た達成感を振り返ることで、学ぶ有用性を味わい探究する意味や価値を見いだすことにつながるだろう。

得たい情報の焦点化については、誰のどのような考えに影響を受けたかを明確化できるようにすることで、追究したい分野の焦点化を図り、他者の考えを生かして新たな概念を形成する協働的な探究のよさを見いだすこともできるように単元構想を工夫する。



図：はばたき学習 自律した学習者を育てる学習のプロセス

## 2 研究の重点 〈○は具体的な取組の例〉

探究する意味や価値、協働的に探究するよさを見いだしながら、新たな探究に向かっていくための支援の工夫

- 現時点で形成した概念から得た納得できる点と問題点を自覚するための視点を獲得できるように、考えるための技法を活用した概念共有の場を設定する。
- 影響を受けた考えを明確化して追究したい分野を焦点化するために、効果的な思考ツールやICT機器の活用ができるような単元構想の工夫をする。

### 3年生の総合的な学習の時間で身に付けたい「資質・能力」

a 問題発見 ＜A問題発見力＞	先行経験を活かして対象とかかわり，自分で問題を見付ける。
b 課題設定 ＜B状況知・方法知＞	教師の支援のもとに，疑問に感じたことを課題につなげる。
c 計画 ＜B状況知・方法知＞	解決の方法や手順を，学級やグループで相談しながら立てる。
d 情報収集 ＜B状況知・方法知＞	課題に応じた情報収集方法（インタビュー，図書資料，インターネット等）で情報を集める。
e 整理分析 ＜B状況知・方法知＞	収集した情報の中から大切な情報を選択する。
f まとめ 表現 ＜B状況知・方法知＞	言語，表，グラフ，図，音楽など様々なものから選択して，相手に伝わりやすい方法，自分自身の考えがまとめやすい方法で表現する。
g 報告・発表・ 討論 ＜B状況知・方法知＞	写真や図を用いてキーワードを示しながら説明する。
h 学ぶ意味や 価値 ＜D生き方・考え方＞	学習を始める前との自分の考えや意見の違いに気付く。
a 意思決定 ＜C実践力・実行力＞	これからのことを考えながら，今，自分にとって必要なことは何かを考える。
b 課題解決 ＜C実践力・実行力＞	対象となる人・自然・社会に適応したマナーや方法でかかわる。
c 実践力 ＜C実践力・実行力＞	自分の願いをもって，自分なりにできる働きかけをする。
d 生き方 ＜D生き方・考え方＞	自分のがんばりやよさに気づき，これからの生活について考える。
a 受容 ＜D生き方・考え方＞	異なる意見や他者の考えを受け入れる。
b 協働 ＜D生き方・考え方＞	互いのよさを見付け合いながら，協力して活動する。
c 環境 (人，社会，自然) ＜D生き方・考え方＞	地域を見直し，そのよさを感じながら，対象に働きかける。

#### 総合的な学習の時間の学びを深める「見方・考え方」

- 各教科等における「見方・考え方」を総合的に活用して，実社会や実生活における事象に着目し，多様な角度から考えたり，実社会や実生活の文脈，自己の生き方と関連付けて考えたりする。

## 4年生の総合的な学習の時間で身に付けたい「資質・能力」

a 問題発見 ＜A問題発見力＞	先行経験を活かして対象とかかわり、自分で問題を見つける。
b 課題設定 ＜B状況知・方法知＞	教師の支援を生かしながら、疑問に感じたことを課題につなげる。
c 計画 ＜B状況知・方法知＞	解決の方法や手順を学級やグループで相談しながら立てる。
d 情報収集 ＜B状況知・方法知＞	課題に応じた様々な情報収集方法（インタビュー、図書資料、インターネット等）で情報を集める。
e 整理分析 ＜B状況知・方法知＞	収集した情報の中からキーワードを中心に大切な情報を選択する。
f まとめ・表現 ＜B状況知・方法知＞	言語、表、グラフ、図、音楽など様々なものから選択して、相手に伝わりやすい方法、自分自身の考えがまとめやすい方法で表現する。
g 報告・発表・ 討論 ＜B状況知・方法知＞	写真や図を用いてキーワードを示しながら説明する。
h 学ぶ意味や価値 ＜D生き方・考え方＞	学習を始める前との自分の考えや意見の違いに気付く。
a 意思決定 ＜C実践力・実行力＞	これからの学習内容や方法を考えながら、自分にとって必要なことを決める。
b 課題解決 ＜C実践力・実行力＞	対象となる人・自然・社会に適応したマナーや方法でかかわる。
c 実践力 ＜C実践力・実行力＞	自分の願いをもって、これからの生活において自分なりにできる働きかける。
d 生き方 ＜D生き方・考え方＞	自分のがんばりやよさに気付き、これからの生活について考える。
a 受容 ＜D生き方・考え方＞	異なる意見や他者の考えに耳を傾け、受け入れる。
b 協働 ＜D生き方・考え方＞	仲間によさを見付け、互いによさを活かしながら活動する。
c 環境 (人, 社会, 自然) ＜D生き方・考え方＞	地域を見直し、そのよさを感じながら、対象に働きかける。

### 総合的な学習の時間の学びを深める「見方・考え方」

- 各教科等における「見方・考え方」を総合的に活用して、実社会や実生活における事象に着目し、多様な角度から考えたり、実社会や実生活の文脈、自己の生き方と関連付けて考えたりする。

## 5年生の総合的な学習の時間で身に付けたい「資質・能力」

a 問題発見 ＜A問題発見力＞	目的に応じて対象に対するかかわり方を変え、吟味・修正しながら、問題を見つける。
b 課題設定 ＜B状況知・方法知＞	自分や友達の問題を大切にしたり、予想にもとづいたりしながら、課題を設定する。
c 計画 ＜B状況知・方法知＞	解決の方法や手順について自分で考えたり、友達と相談したりしながら立てる。
d 情報収集 ＜B状況知・方法知＞	自分が調べたいテーマに応じて様々な情報収集方法（インタビュー、図書資料、インターネット等）で情報を集める。
e 整理分析 ＜B状況知・方法知＞	収集した情報の中からキーワードを中心に大切な情報を選択する。
f まとめ・表現 ＜B状況知・方法知＞	言語、表、グラフ、図、音楽など様々なものから選択して、相手に伝わりやすい方法、自分自身の考えがまとめやすい方法で表現する。
g 報告・発表・ 討論 ＜B状況知・方法知＞	発表会や情報交換の規模、発表の仕方に応じた準備を整えたり、写真や図を用いてキーワードを示しながら説明したりする。
h 学ぶ意味や価値 ＜D生き方・考え方＞	学習を始める前と後での自分の考えや意見の違いに気付き、自らの成長ととらえる。
a 意思決定 ＜C実践力・実行力＞	これからの学習内容や方法を吟味しながら、自分にとって必要なことを決める。
b 課題解決 ＜C実践力・実行力＞	計画にもとづいて対象となる人・自然・社会の様子に応じてかかわり解決する。
c 実践力 ＜C実践力・実行力＞	自分の願いをもって自分や周囲に対して適切に働きかける。
d 生き方 ＜D生き方・考え方＞	自分のがんばりやよさに気付き、成長をこれからの自分の生活に生かしていこうとする。
a 受容 ＜D生き方・考え方＞	学習を通して共通性、法則性を見付けたり、異なる意見や他者の考えを受け入れたりする。
b 協働 ＜D生き方・考え方＞	仲間よさを見付け、互いの知恵を生かしながら活動する。
c 環境 (人, 社会, 自然) ＜D生き方・考え方＞	自分たちの生活を見直し、そのよさを感じたり発見した課題を整理したりしながら対象に働きかける。

### 総合的な学習の時間の学びを深める「見方・考え方」

- ・ 各教科等における「見方・考え方」を総合的に活用して、実社会や実生活における事象に着目し、多様な角度から考えたり、実社会や実生活の文脈、自己の生き方と関連付けて考えたりする。



## 6年生の総合的な学習の時間で身に付けたい「資質・能力」

a 問題発見 ＜A問題発見力＞	目的に応じて対象に対するかかわり方を変え、吟味・修正しながら、問題を見つける。
b 課題設定 ＜B状況知・方法知＞	自分や友達の問題を大切にしたり、予想にもとづいたりしながら、課題を設定する。
c 計画 ＜B状況知・方法知＞	解決の方法や手順について自分で考えたり、友達と相談したりしながら立てる。
d 情報収集 ＜B状況知・方法知＞	自分が調べたいテーマに応じて様々な情報収集方法（インタビュー、図書資料、インターネットなど）で情報を集める。
e 整理分析 ＜B状況知・方法知＞	収集した情報の中からキーワードを中心に、自分の課題解決に大切な情報を選択する。
f まとめ・表現 ＜B状況知・方法知＞	言語、表、グラフ、図、音楽など様々なものから選択して、相手に伝わりやすい方法、自分自身の考えがまとめやすい方法で表現する。
g 報告・発表・ 討論 ＜B状況知・方法知＞	発表会や情報交換の規模、発表の仕方に応じた準備を整えたり、写真や図を用いてキーワードを示しながら説明したりする。
h 学ぶ意味や価値 ＜D生き方・考え方＞	学習を始める前と後での自分の考えや意見の違いに気付き、自らの成長ととらえる。
a 意思決定 ＜C実践力・実行力＞	これからの学習内容や方法を吟味しながら、今、自分が取り組んでおかなければならないことや必要なことを決める。
b 課題解決 ＜C実践力・実行力＞	計画にもとづいて対象となる人・自然・社会の様子に応じてかかわり解決する。
c 実践力 ＜C実践力・実行力＞	自分の願いを明確にして、自分や周囲に対して適切に働きかける。
d 生き方 ＜D生き方・考え方＞	自分のがんばりやよさに気付き、成長をこれからの自分の生活に生かしていこうとする。
a 受容 ＜D生き方・考え方＞	学習を通して共通性、法則性を見付けたり、異なる意見や他者の考えを受け入れたりする。
b 協働 ＜D生き方・考え方＞	仲間によさを見付け、互いの知恵や自他の学びの成果を生かしながら活動する。
c 環境 (人, 社会, 自然) ＜D生き方・考え方＞	自分たちの生活を見直し、そのよさを感じたり発見した課題を整理したりしながら対象に働きかける。

### 総合的な学習の時間の学びを深める「見方・考え方」

- 各教科等における「見方・考え方」を総合的に活用して、実社会や実生活における事象に着目し、多様な角度から考えたり、実社会や実生活の文脈、自己の生き方と関連付けて考えたりする。